

事務事業チェックシート

事務事業No 523 事業名 中央終末処理場等運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	下水道法、水質汚濁防止法		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	終末処理場管理課	岩崎 秀昭	447-3331
関連課	(中央終末処理場)		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
中事業	中央終末処理場等運転管理事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 公共下水道区域内(中央処理区)の家庭排水及び事業所排水を浄化し公共用水域の保全をめざす。		全体事業概要 各ポンプ場より処理場に送水し、水処理等を行い適正な管理を行う。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
中央終末処理場 手平中継ポンプ場 本町中継ポンプ場 中之島汚水中継ポンプ場 太田汚水中継ポンプ場 名草第2汚水中継ポンプ場 毛見汚水中継ポンプ場 マリーナ汚水中継ポンプ場 名草第1汚水中継ポンプ場 湊南汚水中継ポンプ場 新汚泥処理施設の運転管理事業を含む維持管理		中央終末処理場 手平中継ポンプ場 本町中継ポンプ場 中之島汚水中継ポンプ場 太田汚水中継ポンプ場 名草第2汚水中継ポンプ場 毛見汚水中継ポンプ場 マリーナ汚水中継ポンプ場 名草第1汚水中継ポンプ場 湊南汚水中継ポンプ場 新汚泥処理施設の運転管理事業を含む維持管理	中央終末処理場 手平中継ポンプ場 本町中継ポンプ場 中之島汚水中継ポンプ場 太田汚水中継ポンプ場 名草第2汚水中継ポンプ場 毛見汚水中継ポンプ場 マリーナ汚水中継ポンプ場 名草第1汚水中継ポンプ場 湊南汚水中継ポンプ場 新汚泥処理施設の運転管理事業を含む維持管理	中央終末処理場 手平中継ポンプ場 本町中継ポンプ場 中之島汚水中継ポンプ場 太田汚水中継ポンプ場 名草第2汚水中継ポンプ場 毛見汚水中継ポンプ場 マリーナ汚水中継ポンプ場 名草第1汚水中継ポンプ場 湊南汚水中継ポンプ場 新汚泥処理施設の運転管理事業を含む維持管理		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	898,481	834,076	892,088	822,190	888,942	863,217	828,561			
伸び率(%)	-	-	▲0.7%	▲1.4%	▲0.4%	5.0%	▲6.8%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費										
正規職員	32,932	35,812	35,812	46,704	46,704	47,592				
正規職員以外	843	292	292	253	342	457				
小計	33,775	36,104	36,104	46,957	47,046	48,049				
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	1,032	830	1,053	1,484	1,124	1,724	1,353			
一般財源(税等)	897,449	833,246	891,035	820,706	887,818	861,493	827,208			
所要人数(人)										
正規職員	4.43	4.71	4.71	5.88	5.88	5.97				
正規職員以外	0.43	0.13	0.13	0.11	0.15	0.19				
主な予算内訳	管理委託料 486,637千円 光熱水費 201,042千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	処理場及び各ポンプ場の適切な下水処理(実績値(当年度年間高級処理水量)/目標値(前年度年間高級処理水量))	m ³ /年	目標値	15,399,090	15,573,240	15,565,340	15,075,300	
			実績値	15,573,240	15,565,340	15,075,300		
			達成度(%)	100.0%	99.9%	96.9%		
成果指標	放流水の汚濁量(化学的酸素要求量:COD) t/年(注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値(t/年):分析値(mg/L)×放流量(m ³)×1/1000000	t/年	目標値	803.5以下	803.5以下	803.5以下	803.5以下	
			実績値	109.1	104.4	101.6		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	放流水の汚濁量(窒素) t/年(注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績値(t/年):分析値(mg/L)×放流量(m ³)×1/1000000	t/年	目標値	803.5以下	803.5以下	803.5以下	803.5以下	
			実績値	129.9	158.8	142.1		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本事業は、和歌山市公共下水道区域内のうち中央処理区における市民の快適な生活環境の保全及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的としている。 従って引き続き各ポンプ場からの汚水を適正に処理を継続する必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>中央終末処理場及び各ポンプ場の運転管理については、現状維持であるが、水処理の状態把握に努め設備の日常点検等を行い、計画的な修繕により延命化に努めていく。</p>